

国土強靱化総合調査会
平成25年6月21日

防災・命の道をめざす異種の道ネットワーク

日本プロジェクト産業協議会・森林再生事業化委員長
ひだ異種の道ネット検討会 座長
慶応義塾大学 特任教授 米田 雅子

下呂市の公道(国・県・市道・農道・林道)

下呂市の公道(国・県・市道・農道・林道)



背景地図として、国土地理院発行の5万分の1地形図を使用

0 1.5 3 6 km

下呂市の異種の道(公道+民間道+国有林道)

下呂市の公道・国有林道・民間道

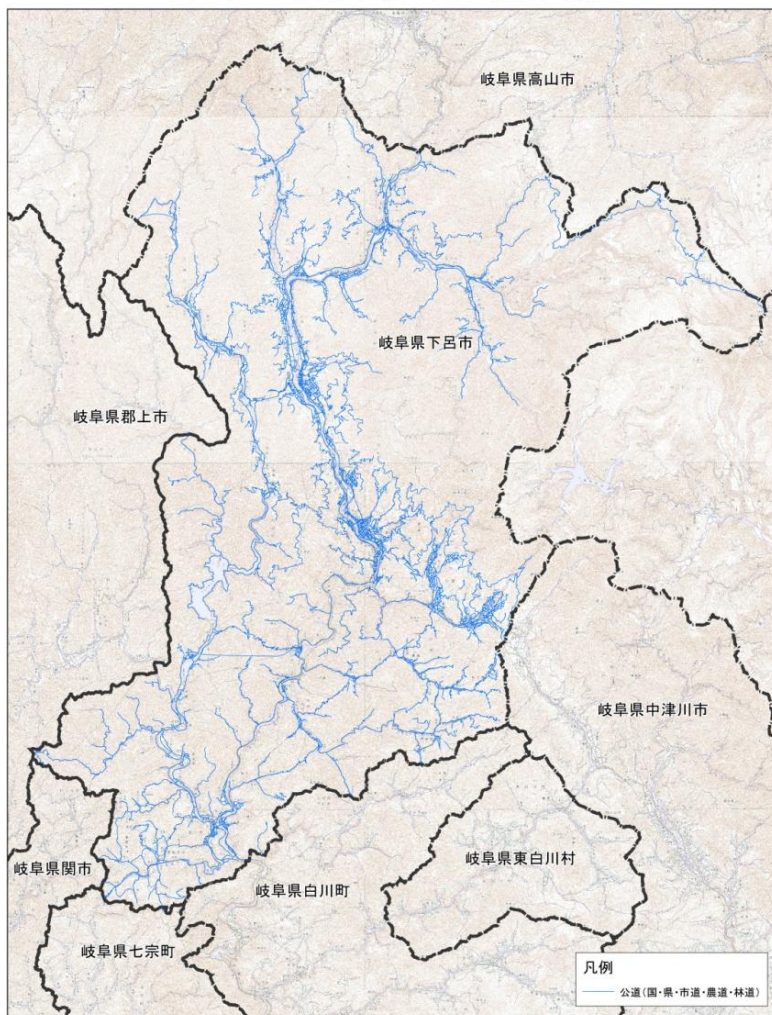


背景地図として、国土地理院発行の5万分の1地形図を使用

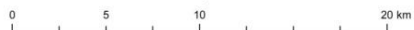
0 1.5 3 6 km

下呂市全域の道路地図と「異種の道」

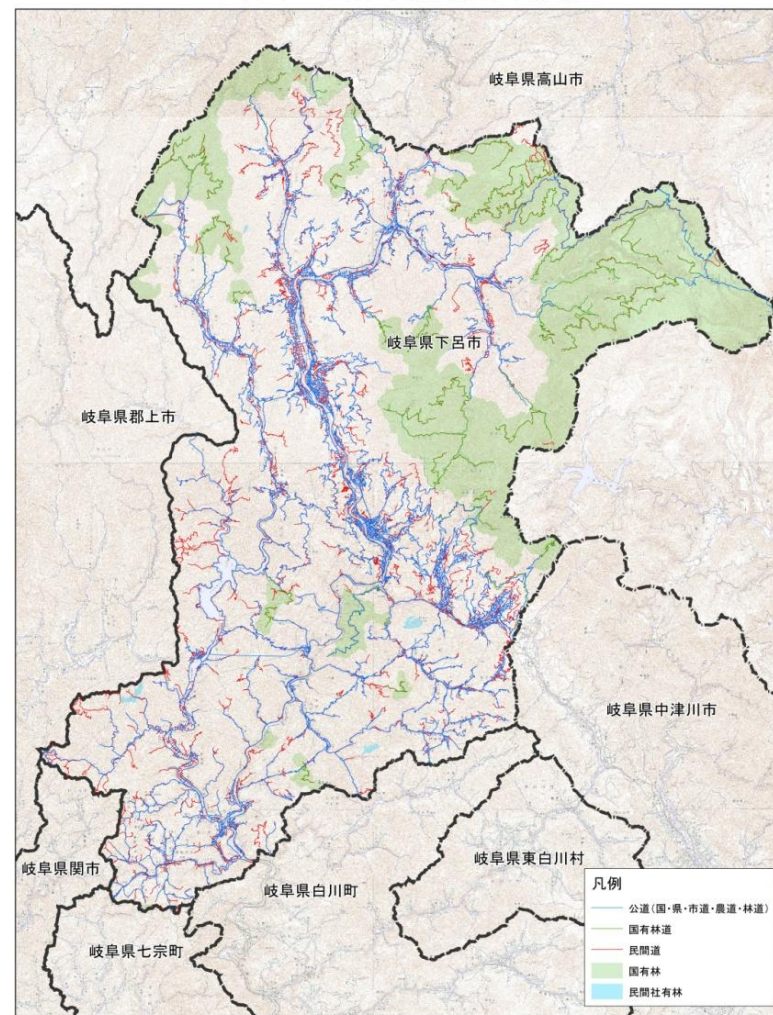
下呂市の公道(国・県・市道・農道・林道)



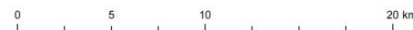
背景地図として、国土地理院発行の5万分の1地形図を使用



下呂市の公道・国有林道・民間道

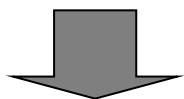


背景地図として、国土地理院発行の5万分の1地形図を使用

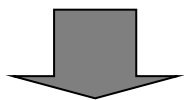


異種の道をつなぐネットワークづくり

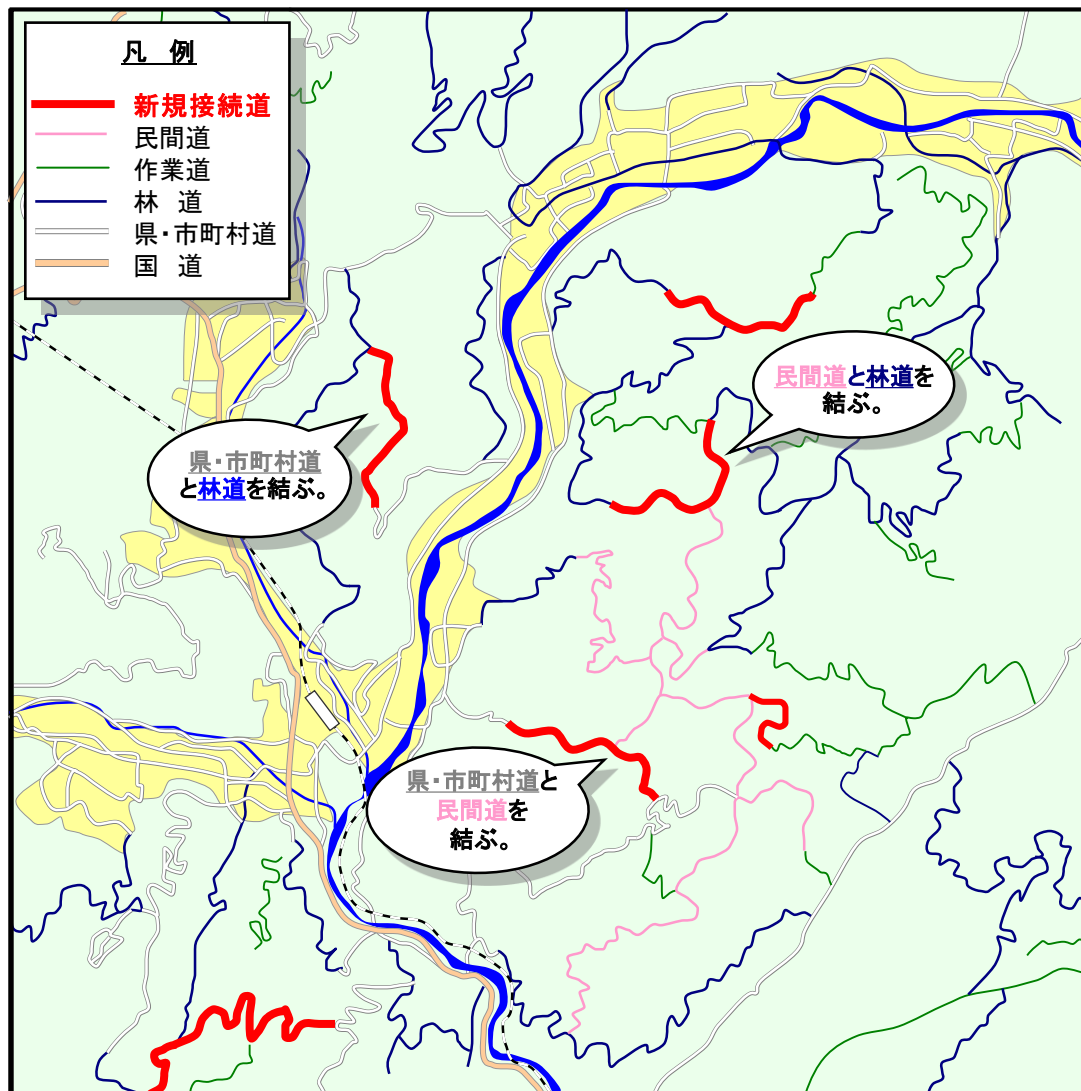
全ての道(公道+民間道)を把握しよう



異種の道をつなぎ、最少コストでネットワークを作ろう



・防災・命の道
・国土保全、森林整備のための道



『ひだ異種の道ネット』検討会の体制

- 【有識者(座長)】 米田雅子慶応義塾大学特任教授
- 【地方自治体】 高山市、下呂市、飛騨市、白川村
- 【国関係】 国土交通省(高山国道事務所)
林野庁(飛騨森林管理署)
- 【岐阜県】 県土整備部、林政部
- 【民間企業等】 岐阜県森林組合連合会
飛騨高山森林組合
たかやま林業・建設業協同組合
製紙会社、電力会社
日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)
国際航業

「異種の道」の種類と管理者

地図に載っている道

- 国道(国土交通省)
- 県道(都道府県)
- 市町村道(市町村)
- 林道(市町村)
- 農道(市町村)

地図に載っていない道

- 河川管理道(国または都府県)
- 砂防管理道(国または都府県)
- 臨港道路(国または地方公共団体)
- 自転車道(国または地方公共団体)
- 里道・赤道(多くが不明)

地図に載っていない民間道

- 林業専用道・林業作業道
(森林組合・企業・個人など)
- 農業の作業道
- 電力管理道(電力会社)
- 通信管理道(通信事業社)
- 製紙会社道(製紙会社)
- 私道
- ...

異なる道の情報収集と重ね合わせ



孤立予想集落

データの
重ね合わせ



土砂災害危険箇所

データの
重ね合わせ



民間道
(製紙会社)

地図から入力



国有林道
(森林管理署)

データの
重ね合わせ

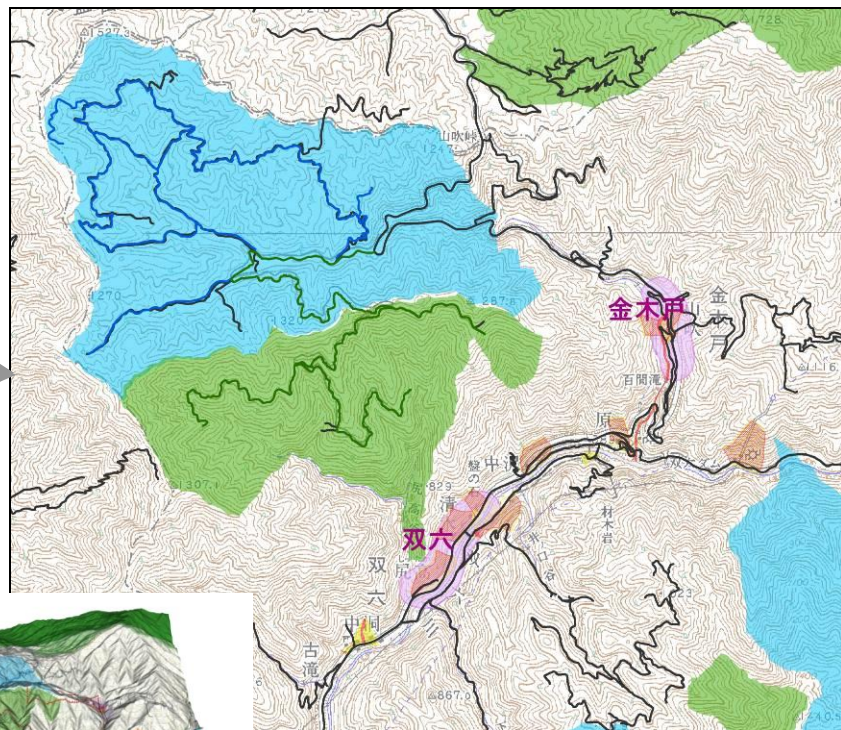


市町村道
(国県道含む)

データの
重ね合わせ

□ 異種の道、災害情報等を可視化 (GIS基盤)

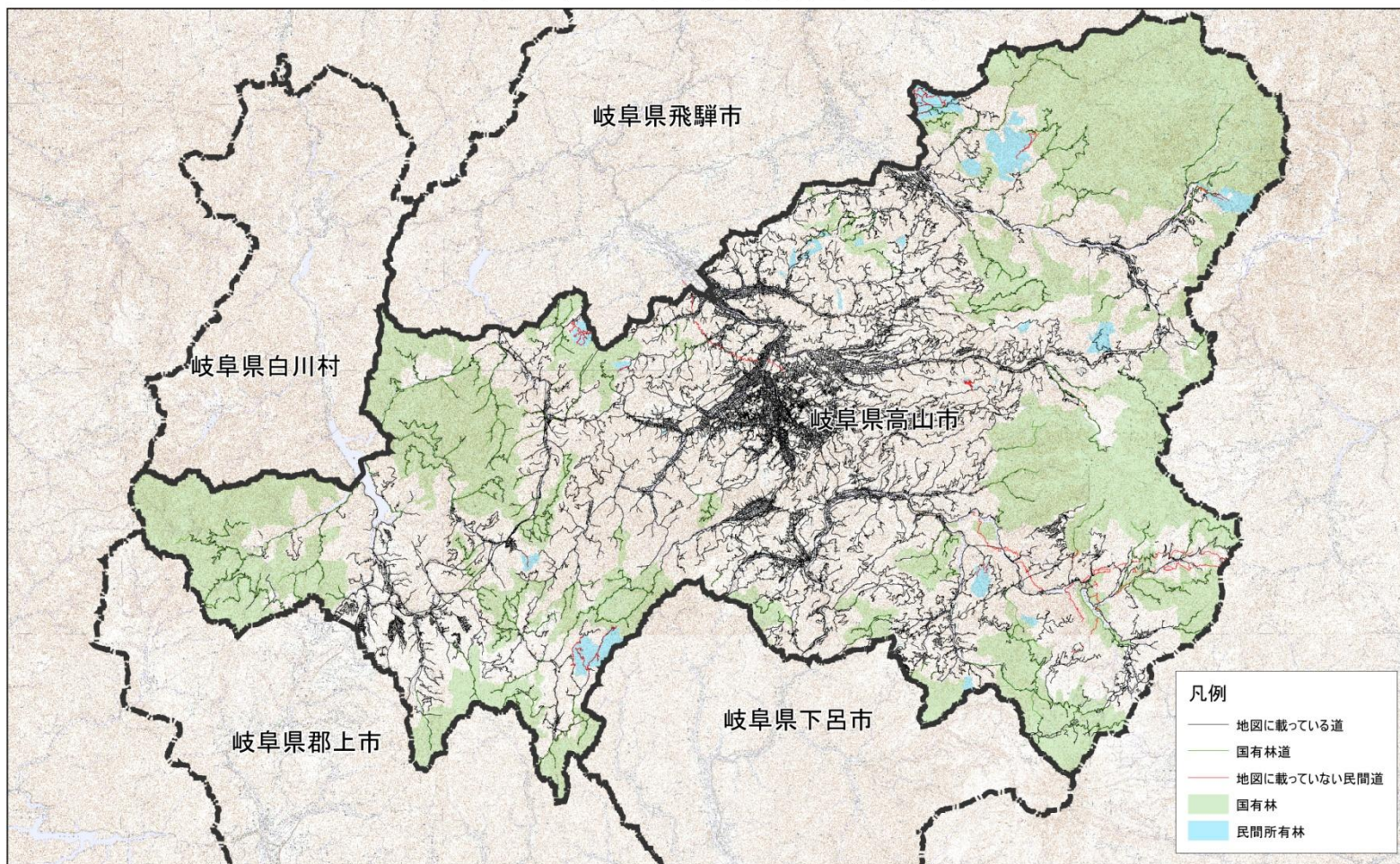
■ GIS: 地理情報システム



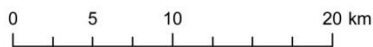
3次元化も容易！！

高山市全域の「異種の道」の地図を作成

高山市の公道・国有林道・民間道

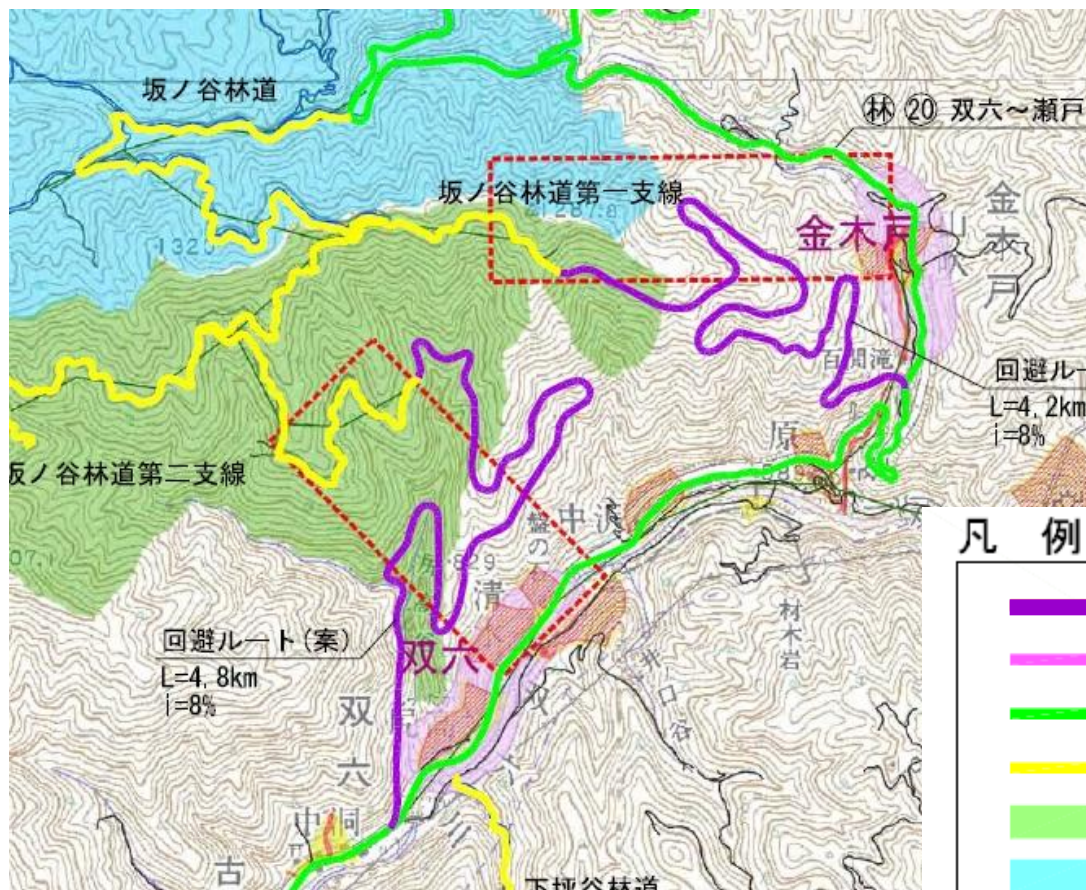


背景地図として、国土地理院発行の5万分の1地形図を使用



高山市における接続道検討例







□ 【】孤立予想集落からの回避ルート検討



- ①接続道の整備コスト
- ↓
- ②孤立集落の対策効果
- ③森林施業の効果
- ④国土保全事業の効果
- ...

総合的な評価方法の立案

凡例

	回避ルート(接続道)
	市道
	林道 (林道台帳より)
	林道 (森林計画図より)
	国有林
	民有林

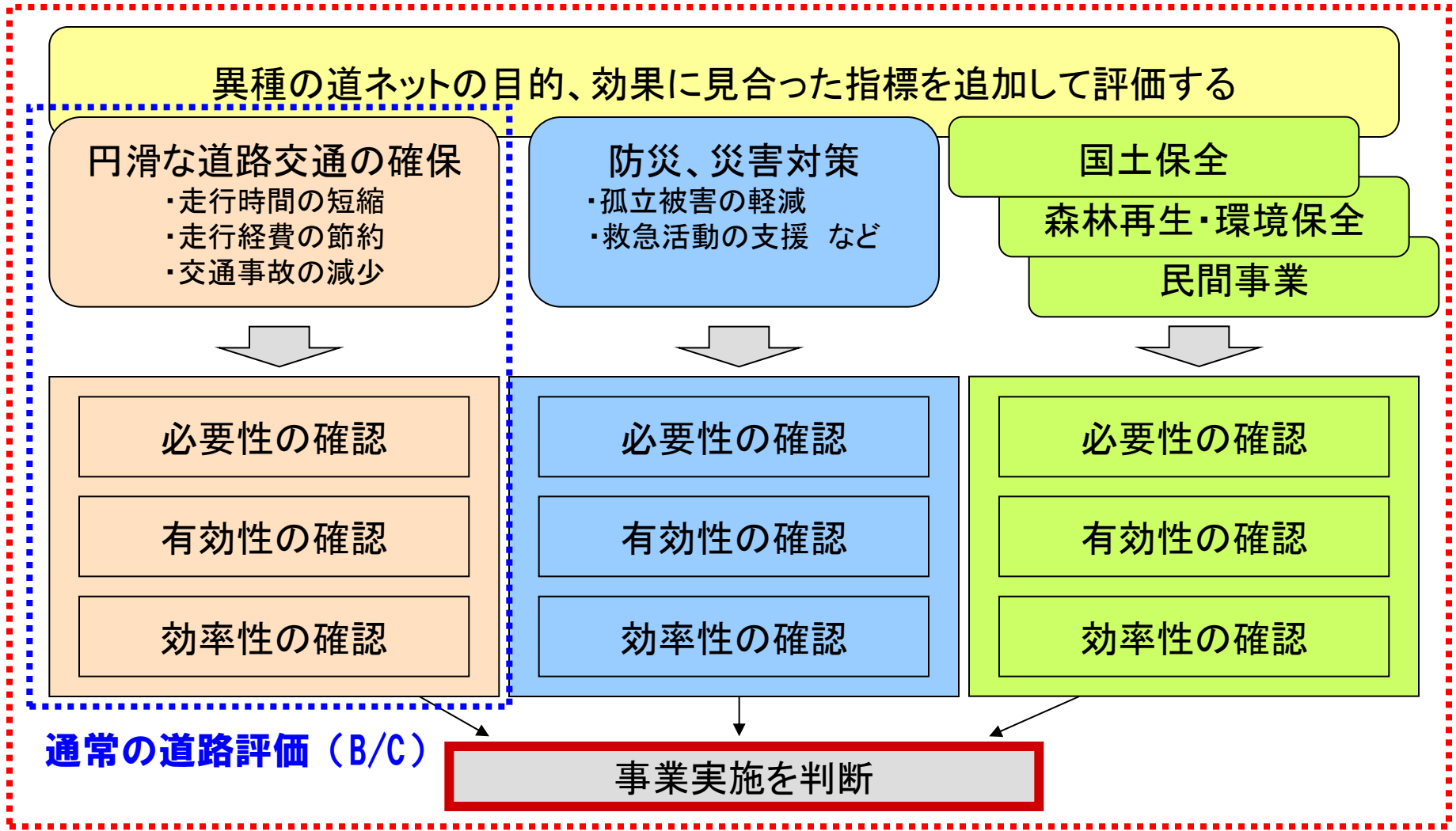
異種の道の制度上の課題

さまざまな異種の道には、異なる準拠法令、定義、管理者、利用対象車両、道路構造、適用規定があるため、異種の道をつなぐためには法制度上の工夫が必要。

異種の道	準拠法令	種類	道路の定義	管理者	利用対象車両	道路構造	検討課題	
							技術的な課題	法制度上の課題
公道 国・県道	道路法第5条、7条	・国道(指定区間、指定区間外)、都道府県	全国的な幹線道路網や地方的な幹線道路網を構成し、かつ一定の法定要件に該当する道路	国土交通大臣又は、都府県	乗用車、トラック、バスなどが一般車両の通行する	道路法第30条道路構造令で規定; 国道の一般的技術的基準及び道路管理者である地方公共団体の条例で都道府県道の構造の技術的基準	・接続箇所の構造(幅員、線形など)	・道路管理に関するルール・協定の策定
民道	自転車道	自転車道の整備に関する法律 ・自転車専用道路 ・自転車歩行者専用道路	もつぱら自転車の通行の用に供することを目的とする道路又は道路の部分。自転車及び歩行者の共通の通行の用に供することを目的とする道路又は道路の部分。	国土交通大臣又地方公共団体	自転車	自転車道の整備に関する法律および道路構造令に規定される構造	・構造的(幅員、舗装など)に車両の通行可否の確認	・道路管理に関するルール・協定の策定
	里道	国有財産法 ・里道	通常「赤道」といわれ、道路法の適用のないいわゆる認定外道路の一つである	敷地が国有地であるものについては、都道府県知事	車両の通行ができない場合が多い	幅員2m未満の道路	・道路構造として接続に適しない	・管理者が不明の場合が多く、適さない
民道	作業道	- ・基幹作業道 ・作業道 ・作業路	特定の森林整備を行うための施設 林道の支線で一時的な施設	森林組合等の長又は森林所有者	林業施業車両、トラックなど	目的とする森林整備にあった簡易な構造	・一般車両走行による幾何構造上の整合 ・幅員、舗装など整備レベルの一貫性への対応	・日常通行の可否 ・常時開放した場合の管理責任の所在 ・補修などの費用負担
	電力管理道	-	電力施設(鉄塔、ダムなど)の日常管理のための道路	電力事業者	管理車両、トラックなど	施設管理を目的とし、管理車両、点検車両などが通行できる構造		
	製紙会社道	-	森林整備を行なうための施設道路	製紙会社	林業施業車両、トラックなど	林業施業を目的とし、作業車両が通行可能な構造		

通常の道路評価 (B/C) ではない総合的な評価を提案

ひだ異種の道ネット検討会が提案する総合的な評価



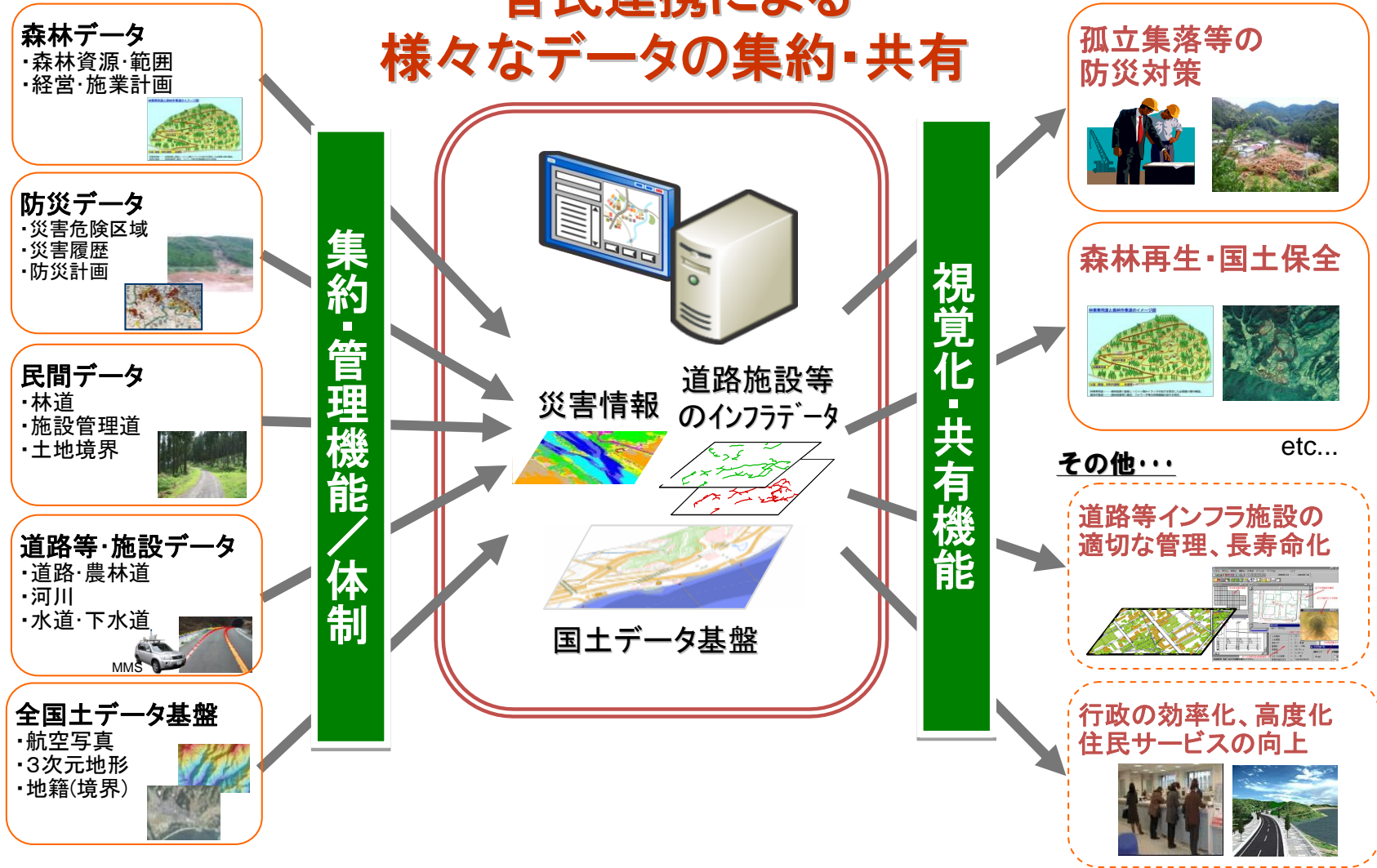
異種の道ネットの効果

- 高山市に存在する異種の道が把握できた。
- 様々な分野での効果が期待される。
- 過疎地域の活性化(地域産業の創出)も期待！！

事業分野	効果
防災・災害対策	・孤立集落の回避 ・災害の早期復旧
国土保全	・治山治水 ・急傾斜地崩壊対策
森林再生	・森林資源の活用、計画的な森林施業 ・水源かん養機能、土砂災害防止機能
環境保全	・地球温暖化防止 ・自然生態系の保全
民間事業	施設管理道や社有林道へのアクセス効率化、等

集約した情報の用途

官民連携による 様々なデータの集約・共有



異種の道ネットに必要な施策

- 異種の道のGISによる情報共有
 - 異種の道の現状調査(地図データ収集、現地調査)
 - GISによる道路情報の共有・可視化

- 異種の道を接続するための環境整備
 - 異なる規格の道をつなぐ際の法制度上の課題に対する措置
 - 民間事業者との連携における課題解決
(災害協定、維持管理、事故発生時の責任所在など)

- パイロット事業の実施
 - 異種の道による命の道ネットワークづくりの計画
 - 接続道の新設、既設民間道の補強

- 低コストで壊れにくい道の技術開発・試行
 - 異種の道に必要な低コストで壊れにくい道の実現

低コストで壊れにくい道の技術開発・試行

(民間企業の取組み)

壊れにくい道の整備に求められるもの

- ・低コスト
- ・安全性
- ・耐久性
- ・短工期
- ・施工の容易性、柔軟性
- ・環境に優しい材料

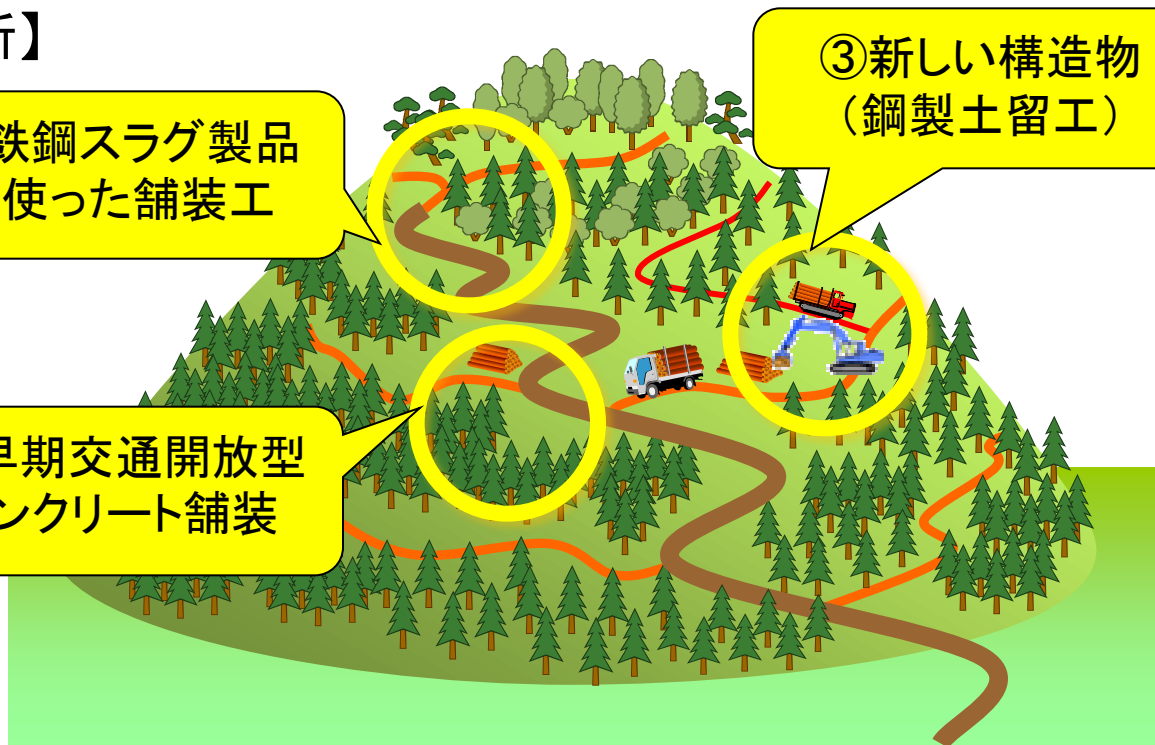
【壊れにくい道の整備箇所】

- ・急勾配箇所
- ・傾斜地
- ・ヘアピンカーブ
- ・軟弱地盤 など

①鉄鋼スラグ製品
を使った舗装工

②早期交通開放型
コンクリート舗装

③新しい構造物
(鋼製土留工)



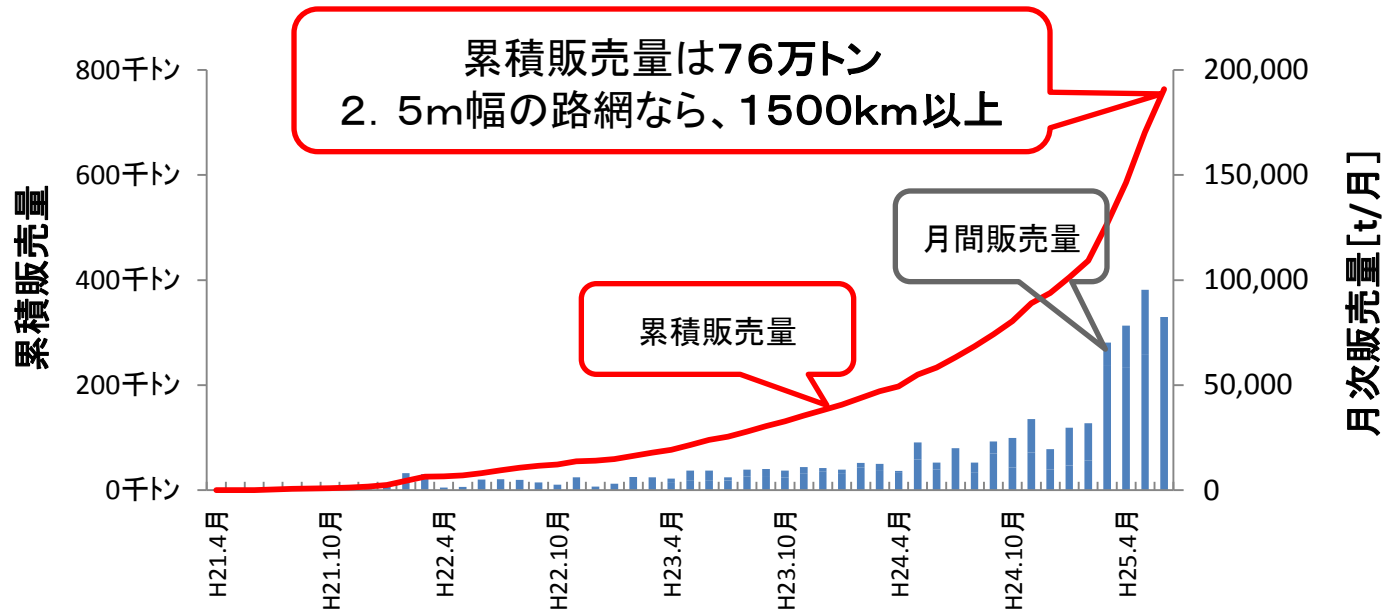
低コストで壊れにくい道の技術開発・試行

(民間企業の取組み)

①鉄鋼スラグ製品を使った舗装工

原料：製鉄所の副産物(スラグ)
製品：大分県リサイクル認定品

- 【材料費が安価】 原料は製鉄所から発生する副産物(スラグ)
- 【施工が容易】 施工は敷きならし⇒散水⇒転圧のみ(大型設備等不要)
- 【施工性が柔軟】 傾斜地、軟弱地盤でも施工可能、短工期、降雨時も作業可能
- 【快適な供用性】 しっかり固まるので、車両の走行はスムーズ



施工前



施工中 (敷きならし)



施工中 (転圧)



施工後



低コストで壊れにくい道の技術開発・試行

(民間企業の取組み)

②セメント系舗装:「1 DAY PAVE(早期交通開放型コンクリート舗装)」(セメント協会開発)

【優れた耐久性】

◆ヘアピンカーブや急勾配箇所へ耐久的なコンクリート舗装を適用

【早期の供用性】

◆施工した翌日には供用可能、異種の道ネットワークを早期に構築

【優れた視認性】夜も見やすい白い舗装面で、高い安全性を確保

【施工が容易】 特殊な機械は不要、地元住民との協働で簡単に施工

【汎用性の材料】 全国どこでも入手可能な「早強セメント」を使用

【低コスト・環境配慮】スラグ骨材等の副産物、リサイクル材、瓦礫の有効利用



ヘアピンカーブ



急勾配箇所



見やすい舗装



容易な施工(人力施工)

低コストで壊れにくい道の技術開発・試行

(民間企業の取組み)

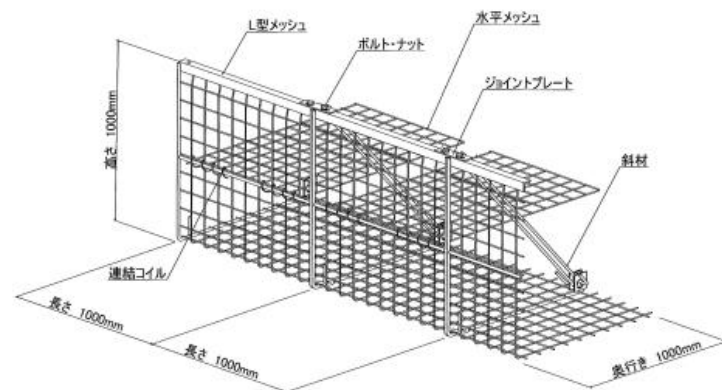
③新しい構造物の開発(鋼製土留工)

- ・低コストで山間部施工に適した構造物の開発
- ・安全、耐久性に優れ大型林業機械走行が可能



急勾配、ヘアピンカーブ対応

軽量、高強度で組立が簡単な鋼製土留工



鋼製土留工の設計図例



鋼製土留工の施工事例(京都府)



新型フォワーダ走行試験

ひだ異種の道ネット検討会のまとめ

当地域の地勢と課題

- 飛騨高山地区は9割が山間地域
- 豪雨豪雪等の自然災害に脆弱な地域

対応策

公道(国県市町村道、砂防道、林道)と
民道(電力・通信管理道、民有林道)の共用

効果

- 防災・災害対策(孤立集落の回避)
- 国土保全(治山治水対策の促進)
- 森林再生、バイオマス・エネルギー-供給促進

孤立集落対策は
地域防災計画の
最重要課題!!

— 接続道
— 国県道
— 市町村道
— 林道
— 民間道

例:公道と
民間道を結ぶ

官(公道)

地方公共団体
(飛騨3市1村)

国・県(地整、岐阜県、林野庁)

官民連携

民(民間道)

民間

森林
組合

地
権
者

飛騨高山地区(山間地域)に存在する全ての道を把握できたことは、今後の防災・災害対策や森林再生に役立つことを確認した。

東日本大震災における「命の道」事例

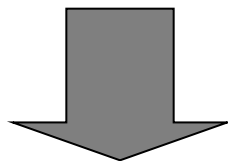
□ 「命の道」として利用された林道

釜石市平田尾崎白浜地区では、大津波により沿岸の道路が寸断され、孤立状態となった。その際、集落の山側にある林道作業道が「命の道」となり、住民の避難路、救助・復旧路として利用された。他の集落でも、多くの林道が「命の道」として利用された。



南海トラフ地震に備えて

- 関東～九州にかけての太平洋沿岸で、「命の道」が求められている。
- とくに、和歌山県、高知県など、沿岸部が急峻な地域では、山中の「命の道」が重要！！



異種の道ネット形成を進めよう！！

～GISを使った異種の道の地図づくりから

JAPIC「森林再生事業化委員会」

委員名簿（敬称略）

平成25年6月21日現在

（オブザーバー委員を除く）

委員名	企業名等	委員名	所属・役職名	
顧問	慶應義塾大学	米田 雅子	理工学部 特任教授	
	東京都市大学 奥野総合法律事務所 （一財）建築環境・省エネルギー機構	中村 英夫 興野 善彦 村上 周三	総長 所長 弁護士 理事長	
大学	東京大学	安藤 直人	名誉教授（農学生命科学研究科 特任教授）	
	東京大学	酒井 秀夫	大学院農学生命科学研究科 教授	
	東京大学	鯨島 正浩	大学院農学生命科学研究科 教授	
	東京大学	和田 章	名誉教授、日本学術会議委員	
	早稲田大学	酒田 政則	理工学術院 社会環境工学科 教授	
	慶應義塾大学	伊香賀 俊治	理工学部 教授	
	団体	北海道経済連合会	恩村 裕之	専務理事
		（一社）東北経済連合会	坂本 敏昭	専務理事
		北陸経済連合会	水野 一義	専務理事
		（一社）中部経済連合会	伊藤 龍久	専務理事
（公社）関西経済連合会		川邊 辰也	専務理事	
中国経済連合会		鎌倉 秀章	専務理事	
四国経済連合会		三木 義久	専務理事	
（一社）九州経済連合会		稻福臨 亨	専務理事	
王子ホールディングス㈱		島村 元明	取締役常務グループ経営委員資源環境ヒュネスカンパニープレジデント	
日本製紙㈱		藤澤 治雄	取締役原材部長	
製紙	東京ガス㈱	村木 茂	代表取締役副社長 執行役員	
	新日鐵住金㈱	徳田 成司	プロジェクト開発部 開発室長	
	日本合板工業組合連合会	廣岡 成則	常務執行役員	
	㈱イワクラ	川喜多 進	専務理事 兼 事務局長	
	兼松日産農林㈱	中出 海	管理部 技術開発室長	
	大建工業㈱	水谷 羊介	ジオテック事業部 技術部長	
	中国木材㈱	長谷川 賢司	情報業務部長	
	ナイス㈱	松岡 秀尚	開発部長 兼 管理部長	
	矢崎エナジーシステム㈱	桃浜 崇	資材事業本部木材事業部 東日本木材統括部長	
	HI建機㈱	清水 一雄	取締役 常務執行役員 環境システム事業部長	
機械	イワフジ工業㈱	丹 昭弘	取締役営業統括部統括部長	
	コマツ	及川 雅之	代表取締役社長	
	住友建機販売㈱	木戸 令雄	林業機械事業部 事業部長	
	住友重機械工業㈱	奥坂 正義	企画部 応用機営業担当 主査	
	日立建機日本㈱	永栄 圓	エネルギ 環境事業部営業本部第1営業部 担当部長	
	㈱レンタルのニッケン	曾根 広志	広域営業統括部長	
	住友大阪セメント㈱	広縁 団太郎	アセメントマネジメント部長	
	国際航業㈱	井ノ川 尚	取締役執行役員	
	アジア航測㈱	上野 俊司	副社長執行役員	
	住宅	住友林業㈱	沼田 洋一	理事 総合研究所長 フェロー
積水化学工業㈱		龍勢 秀樹	顧問	
大和ハウス工業㈱		刈茅 孝一	環境・ライフラインカンパニー 技術・開発センター 企画室 部長	
三井ホーム㈱		原納 浩二	執行役員 都市開発部長	
大東建託㈱		日塔 淳一	執行役員 調達企画部長	
タマホーム㈱		加藤 富美夫	技術部 次長	
ITCグリーン&ウォーター㈱		竹下 俊一	執行役員 工務本部 本部長	
三井物産㈱		田辺 聡	森林資源事業部長	
三井物産フォレスト㈱		守屋 義広	環境・社会貢献部長	
三菱商事㈱		吉田 正樹	企画業務部長	
建設	㈱大林組	佐野 晃	資材本部住宅資材ユニット木材・建材担当マネジャー	
	鹿島建設㈱	岡島 豊行	土木本部 営業推進部長	
	清水建設㈱	岡 和彦	環境本部 部長	
	大成建設㈱	久保木 政充	プロジェクトエンジニアリング室 課長	
	㈱竹中工務店	丹 博美	第一土木営業本部 インフラ再生プロジェクト室長	
	飛鳥建設㈱	岸田 恒明	環境本部環境開発部資源循環開発室 課長	
	㈱日本政策金融公庫	水谷 敦司	環境エンジニアリング本部 課長	
	㈱三菱総合研究所	三輪 滋	執行役員 建設事業本部 技術研究所長	
	JAPIC水循環委員長	三村 嘉宏	農林水産事業本部 営業推進部 副部長	
	JAPIC国家戦略課題委員長	白戸 智	地域経営研究本部 地域経営コンサルティングルグループリーダー	
JAPIC	JAPIC水循環委員長	竹村 公太郎	公益財団法人リバーフロント研究所 代表理事	
	JAPIC国家戦略課題委員長	高島 正之	横浜港湾頭橋代表取締役社長（元三菱商事 副社長）	

学術の動向の3

2013

MARCH 2013 VOLUME 18 NUMBER 3
SCJ FORUM | 日本学術会議

【特集】

巨大災害から生命と国土を護る —三十学会からの発信—

和田章/濱田政則/岸井隆幸/福和伸夫/重川希志依/浅見泰司/
矢部彰/目黒公郎/依田照彦/田村和夫/米田雅子

三十学会・共同声明

国土・防災・減災政策の見直しに向けて - 巨大災害から生命と国土を護るために -

平成24年(2012年)5月10日

- 東日本震災の総合対応に関する学協会連絡会
- 環境システム制御制御学会
- 空気環境・衛生工学会
- 砂防学会
- 地域安全学会
- 地理情報システム学会
- 土木学会
- 日本火災学会
- 日本機械学会
- 日本建築学会
- 日本コンクリート工学会
- 日本自然災害学会
- 日本森林学会
- 日本地震工学会
- 日本造園学会
- 日本都市計画学会
- 農業農村工学会
- 環境システム制御制御学会
- ことば環境学会
- 地盤工学学会
- 日本応用地質学会
- 日本応用化学学会
- 日本計画行政学会
- 日本防災情報学会
- 日本集団災害医学学会
- 日本地震学会
- 日本地すべり学会
- 日本地域経済学会
- 日本水圏病学会
- 廃棄物資源循環学会



日本学術会議 座長メッセージ

巨大災害から生命と国土を護る —三十学会からの発信—

日時：平成24年5月10日(金) 午後2時～5時(入場無料)
会場：日本学術会議会館(東京都港区文芸本町二丁目二番地三十四号)

日本学術会議は、東日本震災の総合対応に関する学協会連絡会、環境システム制御制御学会、ことば環境学会、地盤工学学会、日本応用地質学会、日本応用化学学会、日本計画行政学会、日本防災情報学会、日本集団災害医学学会、日本地震学会、日本地すべり学会、日本地域経済学会、日本水圏病学会、廃棄物資源循環学会の30学会が、巨大災害から生命と国土を護るために、本声明を共同で発表しました。すべての学会が代表者出席し、総会を開催しました。

7月20日
13:00 日本学術会議会館(東京都港区文芸本町二丁目二番地三十四号)にて、本声明の発表式(入場無料)を開催し、本声明を正式に発表しました。
出席：和田章(日本学術会議座長)、濱田政則(環境システム制御制御学会代表)、矢部彰(ことば環境学会代表)、目黒公郎(地盤工学学会代表)、依田照彦(日本応用地質学会代表)、田村和夫(日本応用化学学会代表)、米田雅子(日本計画行政学会代表)、重川希志依(日本防災情報学会代表)、浅見泰司(日本集団災害医学学会代表)、福和伸夫(日本地震学会代表)、岸井隆幸(日本地すべり学会代表)、山本浩一(日本地域経済学会代表)、山本浩一(日本水圏病学会代表)、山本浩一(廃棄物資源循環学会代表)。

7月21日 日本学術会議会館(東京都港区文芸本町二丁目二番地三十四号)にて、本声明の発表式(入場無料)を開催し、本声明を正式に発表しました。
出席：和田章(日本学術会議座長)、濱田政則(環境システム制御制御学会代表)、矢部彰(ことば環境学会代表)、目黒公郎(地盤工学学会代表)、依田照彦(日本応用地質学会代表)、田村和夫(日本応用化学学会代表)、米田雅子(日本計画行政学会代表)、重川希志依(日本防災情報学会代表)、浅見泰司(日本集団災害医学学会代表)、福和伸夫(日本地震学会代表)、岸井隆幸(日本地すべり学会代表)、山本浩一(日本地域経済学会代表)、山本浩一(日本水圏病学会代表)、山本浩一(廃棄物資源循環学会代表)。

17:15 閉会式

平成25年 第8回建設トッパーナーフフォーラム インフラの町医者をめざして

日時：平成25年7月2日（火）9：30～18：00

会場：日本建築学会 建築会館ホール 東京都港区芝5-26-20（JR田町駅、地下鉄三田駅徒歩3分）

会費：無料（資料代1,000円／冊）

主催：建設トッパーナーフ倶楽部 共催：日本青年会議所建設部会

後援：全国建設業協会 日本プロジェクト産業協議会 建築技術支援協会 地方建設記者の会

開催趣旨

地域建設業は、災害が多発する日本列島の地域防災の最前線。

地域建設業は、老朽化する社会インフラを点検し維持する地域の町医者。

地域建設業は、複業により公共投資を産業創出につなげる地域の総合企業。

そこにいることが安心感につながる町医者のような地域建設業をめざそう。

申込方法

下記ホームページの申込フォームからお申込みください。

www.kentop.org/

懇親会

フォーラム終了後、下記の通り懇親会を開催します。奮ってご参加ください。（会費 5,000円）

18時-18時30分 ウェルカムドリンク

建築会館ホール・ホワイエ（ホール準備の間）

18時30分-20時 懇親会

建築会館ホール（日本建築学会）

インターネットで実況中継 (ustream)

当日、建設トッパーナーフ倶楽部のホームページ <http://www.kentop.org/> をご覧下さい

参考書籍の頒布を予定

「複業のすすめ—地域建設業の挑戦」

建通新聞社 米田雅子＋地方建設記者の会

「大震災からの復旧-知られざる地域建設業の闘い」ぎょうせい 米田雅子＋地方建設記者の会

プログラム

【9時30分-10時】

開会のことば
趣旨説明
来賓挨拶

日本青年会議所2013年度建設部会長

建設トッパーナーフ倶楽部代表幹事・慶大

国土交通大臣

農林水産大臣

内閣府特命担当大臣（国土強靱化、防災担当）

衆議院議員 元国土交通大臣

【10時-11時15分】 第1部 連携が新しい価値を生む

アドバイザー

国土交通省 技術審議官

経済産業省 大臣官房審議官

介護とリフォームで雇用創出 セントラル建設社長

ミラクルソルで日本水大賞 日本建設技術社長

環境・エネギーへの展開 中村建設社長

【11時15分-12時30分】 第2部 複業により地域を活性化する

アドバイザー

林野庁長官

農林水産省 大臣官房地方課長

おいしい野菜と森林整備 豊明建設社長

地域ブランドへの挑戦 植村建設取締役

三宅島の緑化と島おこし 伊豆緑産社長

【12時30分-13時30分】 昼休み 休憩

【13時30分-14時45分】 第3部 災害から地域を守る

アドバイザー

元国土交通事務次官

日本建築学会会長・倶楽部代表幹事

東北復興の現状と課題 深組社長

豪雨災害の復旧と山村再生 川口建設社長

地域建設BCPの提案 日本青年会議所建設部会

【14時45分-16時】 第4部 老朽化から社会インフラを守る

アドバイザー

元国土交通事務次官

西村あさひ法律事務所 代表パートナー

世界遺産・知床の道を守る 斜里建設工業社長

岐阜県メンテナンステクスパート 丸入産業

青森県橋梁アセットへの取組み 中細組社長

【16時-16時15分】 休憩

【16時15分-17時55分】 パネルディスカッション「インフラの町医者をめざして」

キーノートスピーチ

岐阜県知事

国土技術研究センター理事長

愛鳥 社長

日本青年会議所2013年度建設部会長

コーディネーター 建設トッパーナーフ倶楽部代表幹事・慶大

【17時55分-18時】

閉会の言葉

日本青年会議所25年度フォーラム実行委員長 真鍋浩章

【18時-20時】

交流会

田井慶一郎

米田雅子

太田昭宏

林 芳正

古屋圭司

金子一義

深澤淳志

横田俊之

阿部伸一郎

原 裕

中村信吾

沼田正俊

堀川日良

林 正英

植村真美

石森良房

鹿儿島県

北海道

東京都

沼田正俊

堀川日良

林 正英

植村真美

石森良房

宮城県

和歌山県

徳島県

谷口博昭

和田 章

深松 努

川口明久

真鍋浩章

青山俊樹

松嶋英機

土田好起

加藤十良

羽賀義広

北海道

岐阜県

青森県

青森県

青森県

岐阜県

大石久和

西山 周

田井慶一郎

米田雅子

愛媛県

千葉県

千葉県

徳島県